

株主メモ

- 事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会開催時期 / 毎年6月
 基準日 / 毎年3月31日
 (その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日)
 期末配当金受領株主確定日 / 毎年3月31日
 (なお、中間配当を行うときの中間配当金受領株主確定日は9月30日)
 株主名簿管理人 / 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 / 名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685
 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部
 ☎0120-78-2031
 同 取 次 所 / 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
 公 告 方 法 / 電子公告により行います。
 ※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を
 することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
 単 元 株 式 数 / 100株
 株 式 店 頭 登 録 / 1997年8月1日 証券コード4558
 株 主 優 待 / 毎年3月31日現在の株主の皆様へ、ご所有株式数に応じ、
 自社取扱商品を5月下旬に発送いたします。



ご所有株式数	自社取扱商品
100株以上、300株未満	1,000円相当
300株以上、500株未満	2,000円相当
500株以上、1,000株未満	3,000円相当
1,000株以上、5,000株未満	5,000円相当
5,000株以上	10,000円相当

株式の名義書換、配当金のお支払い並びに諸届出等のお問い合わせは、上記株主名簿管理人の事務取扱場所並びに取次所
 でお取り扱いいたします。なお、「株式会社 証券保管振替機構」に預託されました株券についての諸届出及び手続等に関する
 お問い合わせは、お取引先の証券会社へお願いいたします。

中京医薬品ホームページアドレス
www.chukyoiyakuin.co.jp

中京医薬品・楽天ショップ「イキイキ良品館」
www.rakuten.co.jp/ikiiki-ryouhin/



第29期報告書

平成18年4月1日▶平成19年3月31日



信頼と健康のマーク



株式会社 中京医薬品

JASDAQ
 証券コード4558



第13回 2006中京医薬品クリスマスチャリティーコンサート [詳しくはP8へ](#)

CONTENTS

株式の皆様へ	2
決算ハイライト	5
トピックス	7
株主還元の推移	9
アンケート結果報告	11
連結財務諸表	13
個別財務諸表	15
株式の状況	17
会社の概要	18

株主の皆様へ

株式会社 中京医薬品
代表取締役社長

山田正行

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素より格別のご支援並びにご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。ここに中京医薬品グループの第29期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）のご報告をするにあたり、株主の皆様へ一言ご挨拶申し上げます。

当期における我が国の経済は、好調な企業業績を背景に設備投資の増加や雇用環境の改善による個人消費の回復等により景気の回復基調が続きました。しかしながら、原油高に伴う資材の高騰や米国経済の減速感など懸念材料も多く、回復基調にありながらも力強さを感じないものとなっております。また戦後のベビーブームに誕生した“団塊の世代”の退職の始まりは市場に新たな消費を生み出すことが期待されますが、半面、社会構造の変化によって高齢者の医療負担の急速な増加、また年金問題など、先行きへの漠然とした不安も根強く、伝聞される好景気の割には

不透明感があり、まだまだ予断を許さない状況であります。

こうした状況の中、当社グループの中核事業であります配置販売事業におきましては、偏った販売層を是正し、幅広い顧客層の需要の掘り起こしに努めてまいりました。そのため、営業力をソフト・ハード両面から強化すべく、営業拠点を増設する傍ら統廃合を進め、社員教育に一層の力を注ぎ、積極的な変革への取り組みをいたしております。

お客様一人一人とふれあいながら、変わり続ける時代の中で本当に求められている商品やサービスを追求し、ご提案していく。この「ふれあい業」の初心を徹底することにより、当社グループは社会に貢献できるものと確信いたしております。

株主の皆様におかれましても、当社グループの今後の可能性にご期待いただき、さらに深いご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次のページより、当期の概況と来期の見通しについて、代表取締役社長 山田正行のインタビューを掲載しております。

第29期の概況

— まず、第29期を振り返って総括すれば、どんな一年でしたか。

一言で申し上げれば、「悔しい一年」でした。期首に掲げた目標を達成できず決算を迎えたことは非常に残念であり、この上ない悔しさでいっぱいです。しかし、その理由を一つひとつ明らかにしていくことで、より強い企業へと進化するチャンスを与えていただいたと考えております。

創業以来、私どもが標榜してまいりました「ふれあい業」の本質を見極め、これからの時代においてどう展開していくか。全社員が心を一つにできる体制づくりを積極的に進めるとともに、社員一人ひとりが改めて「ふれあい業」の本質に目覚め、自己の内面で確立していくきっかけとなった一年と言えるでしょう。

— では、この一年の企業グループ各事業の動きはいかがだったでしょうか。

主力事業である配置販売事業においては、社内体制を強化する一方で、上半期には営業拠点を積極的に増やしてまいりました。既存店がカバーするエリアに隣接する商圈を営業地域として開拓する戦略のもと、初出店となる広島県、熊本県をはじめ、滋賀県などにも進出いたしました。また、

既存店のポテンシャルを見極め、大胆にスクラップ・アンド・ビルドも推し進め、年度末で90拠点となりました。こうした積極的な出店攻勢を継続するため、従来は採用の対象外であった五十歳以上の方々の中途採用にも着手し、これまでに育んできたスキルを「ふれあい業」で生かしていただく環境づくりにも取り組んでいます。

新規事業においてはミネラルウォーター宅配事業が好調で、増え続ける需要に対応するために名古屋市西区に最新設備を備えた名古屋西ウォータープラントを新設。名古屋市北西部から岐阜市周辺までを商圈とし、さらなる市場開拓に取り組んでおります。また第30期には名古屋市東部を商圈として開拓するため名古屋東ウォーターショップを新設いたします。

— 決算の概況はいかがでしたか。

当期の売上高につきましては、主力事業である配置販売事業において偏った販売層を是正し、幅広い顧客層の需要を掘り起こしました。また、拠点新設に伴い、新しい商圈での新規開拓にも邁進してまいりました。しかしながら、その効果は期末に至って現れてはまいりましたが、通期においては予想以上の低迷となりました。

その結果、連結売上高で81億57百万円(8.6%減)、個別売上高で80億58百万円(8.3%減)となりました。経常利益につきましては、下半期に営業

所の統廃合により5営業所を廃止するなど、一層の販売費及び一般管理費の削減による経営の効率化に取り組みましたが、上半期における7営業所の出店に伴う先行投資と中途採用増による人件費増加が影響し、連結経常損失48百万円(109.3%減)、個別経常損失50百万円(109.3%減)となりました。

この創業以来初となる赤字に対して、手許有価証券を売却し、売却益3億11百万円を特別利益として計上いたしました。しかしながら、繰延税金資産の回収可能性の見直しにより、法人税等調整額が1億10百万円計上されることになったため、当期損益につきましては連結当期純利益4百万円(89.8%減)、個別当期純損失16百万円(127.1%減)となりました。

第30期の抱負と見通し

— 今後の戦略と第30期の具体的な数値目標を提示してください。

記念すべき第30期は、まさにゼロからのスタート。チャレンジする気持ちで、社員一丸となって業績の回復に取り組んでまいります。中長期的には5ヶ年計画に基づき営業拠点を積極的に増設する計画ですが、今期は営業社員の教育をはじめとした基礎固めをしっかりと行っていきます。

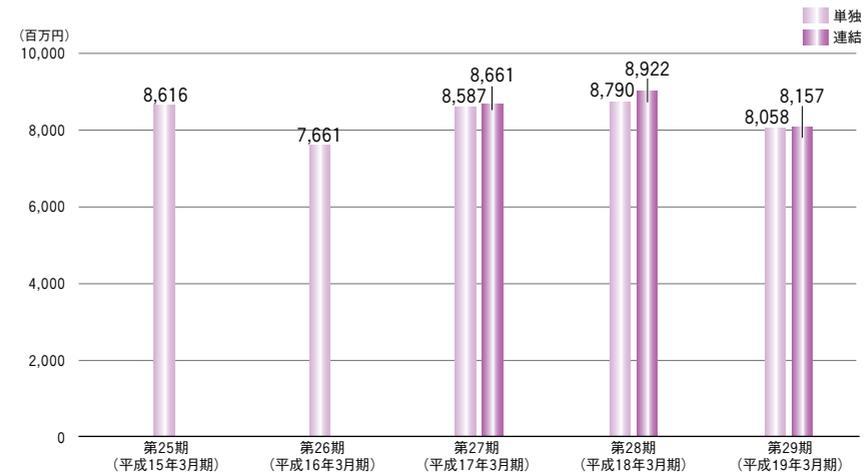
第30期通期での連結業績目標は売上高89億



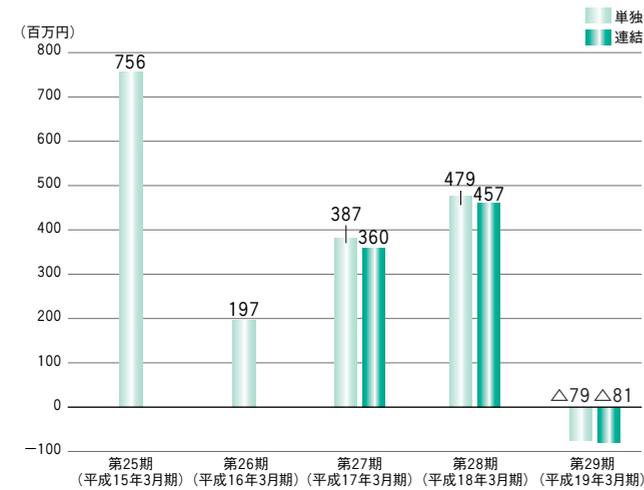
51百万円、経常利益2億89万円を見込んでおりますが、役員退職引当金を特別損失に計上するため、当期利益は純損失の2億1百万円を見込んでおります。当社グループとしましては、積極的な営業戦略の柱となる経営基盤をより強固なものに確立しつつ、配置販売業という基本にかえて社内マネジメントをさらに充実させ、社会情勢や消費動向に左右されることのない安定した収益体制を具現化してまいります。そして、これまで以上に顧客満足を向上させ、全国規模のネットワークを構築し、広く社会から支持していただける存在になりたいと決意も新たにいたしております。どうぞ、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

決算ハイライト

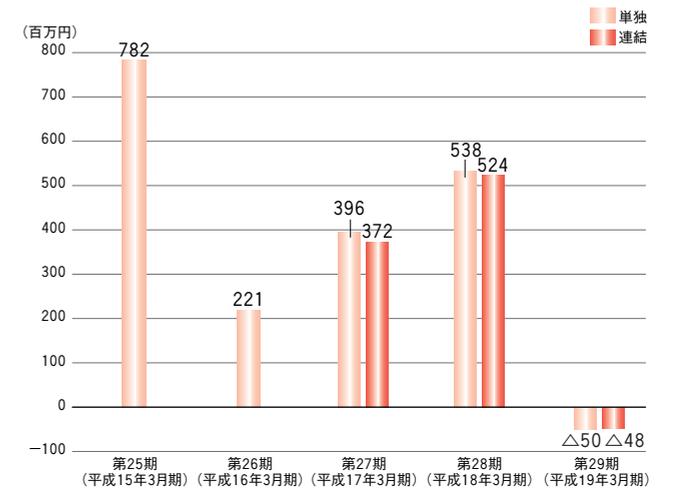
●売上高



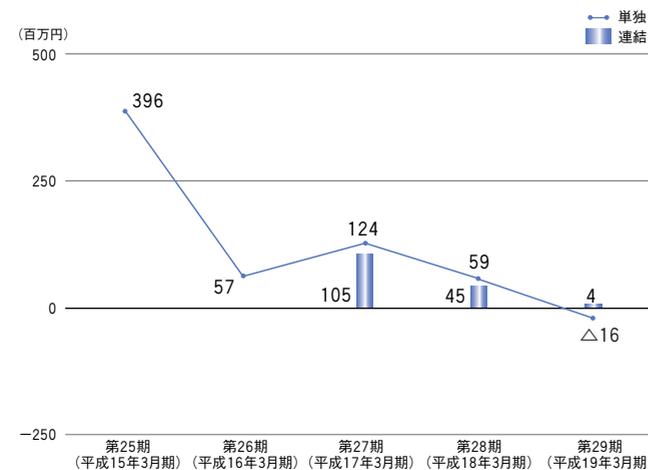
●営業利益



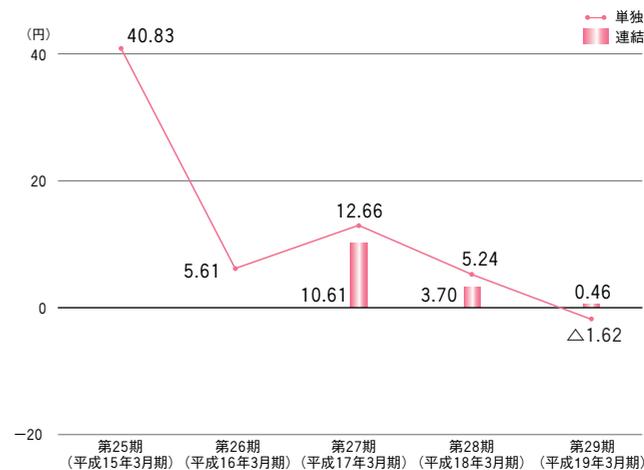
●経常利益



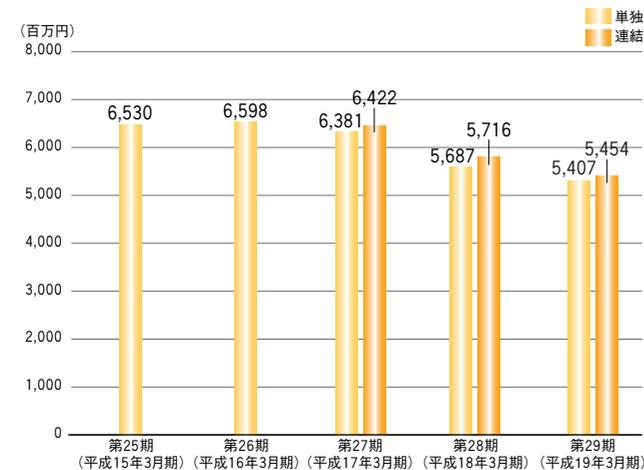
●当期純利益



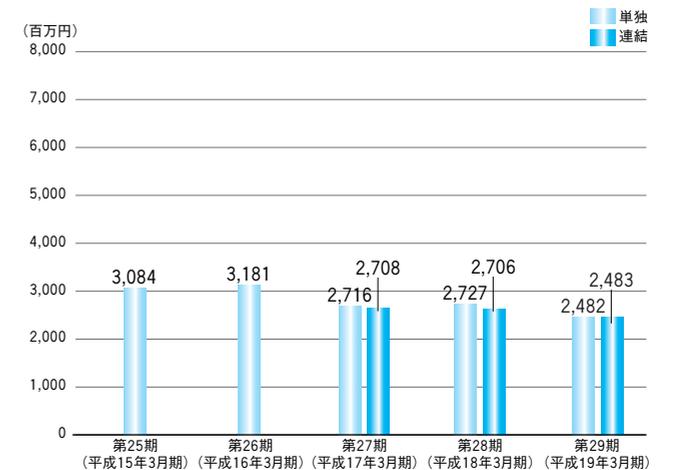
●1株当たり当期純利益



●総資産額



●純資産額



トピックス

1 「IRツールフェア」に参加しました。

平成19年3月2日より3日間、東京証券会館1階のJASDAQプラザにおいて開催されました「IRツールフェア」に参加いたしました。このフェアは、JASDAQ上場企業が作成している事業報告書や会社案内等のIRツールを展示し、幅広く企業の内容を個人投資家の方々に知っていただくためのイベントであり、3日間で約450名の来場者がありました。当社も個人投資家の方々と貴重な接点として事業報告書をはじめ、数点のIR資料の展示を行いました。



2 個人投資家向け会社説明会開催

平成19年2月27日、名古屋駅前に完成したミッドランドスクエア(名古屋市中村区名駅4-7-1)12Fにおいて個人投資家向け会社説明会を開催いたしました。14時から15時までの持ち時間の内、プロジェクターを使用しながら当社社長が「わが社の現状と将来について」と題して講演を行いました。当日は約150名の方がご来場くださり、当社社長の説明に熱心に聞き入っていただきました。また、当社取扱商品のウォーターサーバーを会場内に設置してミネラルウォーターの試飲を行いました。数多くの方から好評をいただきました。今後も当社への理解を深めていただくため、積極的なIR活動を展開していきたいと思っております。



3 第13回2006中京医薬品クリスマスチャリティーコンサート開催

「2006中京医薬品クリスマスチャリティーコンサート」が平成18年12月1日(金)愛知県芸術劇場コンサートホールで開催されました。このコンサートは当社の国際貢献活動「きずなASSIST」の一環として毎年12月に開催しているものですが、早いもので今年で13回目を数えるに至りました。恒例となっております市民合唱団による「悠久の第九」をメインイベントに、会場では「きずなASSIST」のパネル写真による1年間の活動報告やチャリティー募金のご協力もお願いいたしました。この収益金の一部は、世界の子供たちのために役立てられています。



4 どんぐり1000年の森植樹会に参加

「景観十年、風景百年、風土千年」という理念の下、1997年の4月より宮崎県でスタートした緑化活動「どんぐり1000年の森の植樹会」。「きずなASSIST」の取り組みの一つとして参加して11年。平成18年度は3月18日(日)に宮崎県三股町轟木国有林で実施され、今年も中京医薬品の社員と家族を含め約30人が参加し、伐採した山一面に高さ1mほどの苗を植樹しました。子供たちに引き継ぐ未来の自然環境のために、今、私たちにできることを実践しています。



株主還元の推移

株主還元の基本方針

株主の皆様の当社への期待にお応えするため、積極的な事業活動により企業価値の向上を図る一方で、今後の収益、財務体質、事業投資への対応を勘案しつつ、株主重視の観点から株主還元施策に取り組んでまいります。配当に関しては、安定的かつ継続的な配当の維持・向上を基本として、連結業績、中長期的な成長性、純資産配当率（DOE）等を加味し総合的に判断して行う考えです。またそれに加えて株式分割に関しましては、一株当たり利益の増加等を鑑みながら機動的に実施し、還元水準の一層の向上に努めてまいります。

● 株式分割

平成11年5月	2割分割を実施
平成12年5月	5割分割を実施
平成13年5月	2割分割を実施
平成14年5月	1割分割を実施
平成15年5月	1割分割を実施
平成18年4月	1割分割を実施

※1 株式公開記念配当金5円を含む
 ※2 創業50周年記念配当金5円を含む
 ※3 株式会社店頭公開5周年記念配当金2.5円を含む

● 配当金の推移（1株当たり）

平成10年3月期 (9月中間期含む)	10円※1
平成11年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成12年3月期 (9月中間期含む)	10円※2
平成13年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成14年3月期 (9月中間期含む)	7.5円※3
平成15年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成16年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成17年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成18年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成19年3月期 (9月中間期含む)	5円

● 株主優待

株主優待条件を100株以上に変更しました。

19年3月の例（3月末現在の株主）

100株以上	「花・香りの物語」 「日本の名泉めぐり」 (1,000円相当額)
300株以上	「花・香りの物語」 「日本の名泉めぐり」 (2,000円相当額)
500株以上	エモアモイスチャー シャンプー&ヘアパック (3,000円相当額)
1,000株以上	エモアモイスチャー シャンプー&ヘアパック マッサージ&ボディウォッシュ (5,000円相当額)
5,000株以上	エモアモイスチャー シャンプー&ヘアパック マッサージ&ボディウォッシュ (10,000円相当額)

18年3月の例（3月末現在の株主）

500株以上	「花・香りの物語」 「日本の名泉めぐり」 (3,000円相当額)
1,000株以上	薬屋さんが処方した 美味しいカレー (5,000円相当額)
5,000株以上	薬屋さんが処方した 美味しいカレー (10,000円相当額)



【シャンプー&ヘアパック】
 ダメージをケアし、うるおいと輝きのある健康な髪へ。海洋性コラーゲン、パールエッセンス、海藻エキス、アミノ酸を配合した高級サロン仕様です。上質を極めたためらかな指通り、つややかな仕上がりを毎日実感いただけます。

【マッサージ&ボディウォッシュ】
 海の天然ミネラルを豊富に含んだクレイ（海泥）、パールエッセンス、3種類の天然海藻エキス（緑藻・褐藻・紅藻）を配合。毛穴の奥の皮脂や汚れを取り除きながら引き締めます。みずみずしくハリのあるボディのための“美”習慣。天然成分なので肌の弱い方も安心してお使いいただけます。

【花・香りの物語】
 酵素と3つの保湿成分（紅茶エキス・オリーブ油・メタケイ酸Na）を配合した、お肌にやさしい入浴剤。その日の気分で選べる7種の花[サルビア・ユリ・ボタン・マリーゴールド・カモミール・ローズマリー・ラベンダー]の香りをセッしました。ハーブの香りに包まれる心地いいバスタイムをお楽しみください。

【日本の名泉めぐり】
 日本各地から選んだ名湯[登別・道後・熱海・有馬・十和田・草津・湯布院]の温泉成分に近づけ、さらに温泉効果を高める酵素・カテキン（緑茶エキス）と3つの保湿成分（オリーブ油・トウキエキス・各生薬エキス）を配合。温泉気分になりながら、一週間、毎日違うお湯をお楽しみいただけます。

【マサラビーフ】
 通常15種類前後でブレンドされるカレースパイスを30種類ブレンドし独自のガラムマサラを作りあげました。薬屋さんの目利きで選んだ、漢方薬としても使われるスパイスの引き立ての味わい。お子様からお年寄りの方まで、きっとご満足いただけます。

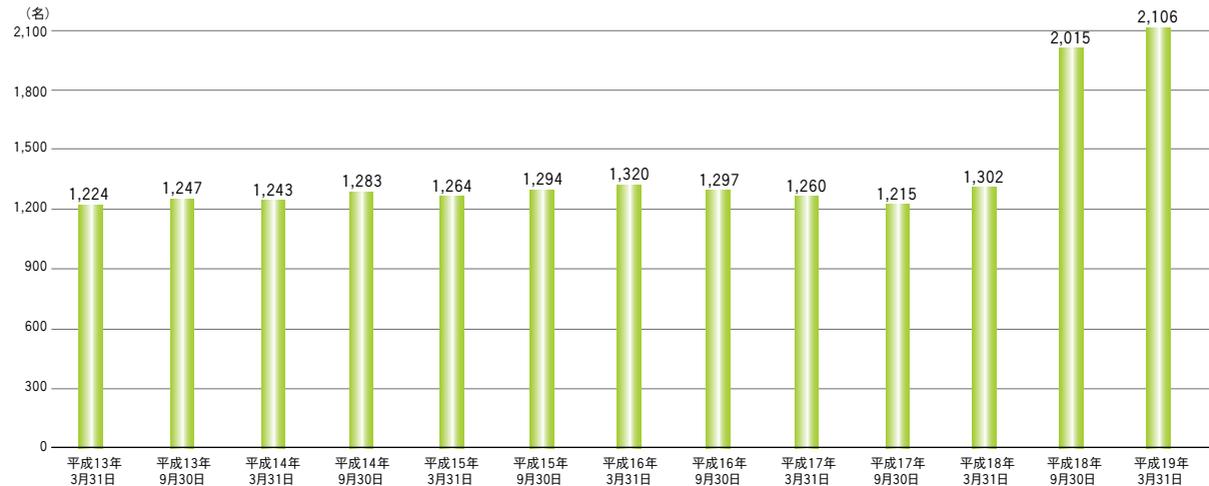
【グレイビービーフ】
 一流シェフのレシピをもとに、漢方薬としても使われる各種のスパイスをふんだんにブレンドし、お肉の味を最大限に引き出しました。鉄板でローストした肉汁の旨味がぎゅっとつまった身体に優しく、おいしいカレー。本格的な味をご家庭でご賞味ください。

アンケート結果報告

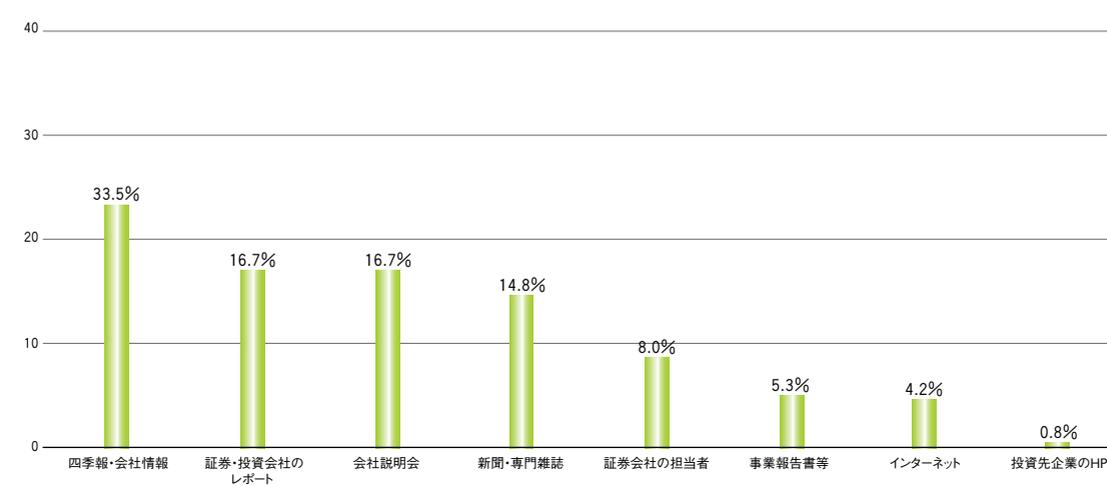
ご協力いただきありがとうございました。

今後のIR活動の参考とするために、アンケートを実施しております。
2月27日の個人投資家向け会社説明会では125通(回答率85.6%)のご回答をいただきました。その集計結果の一部をご報告申し上げます。

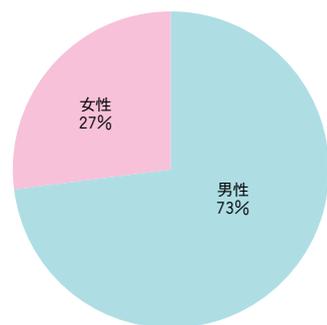
●株主数の推移



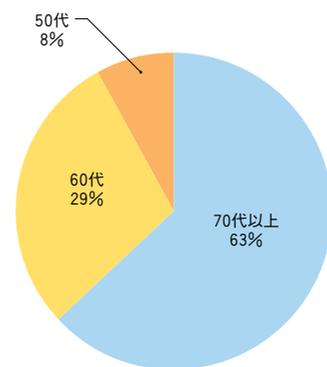
●参考とする投資情報



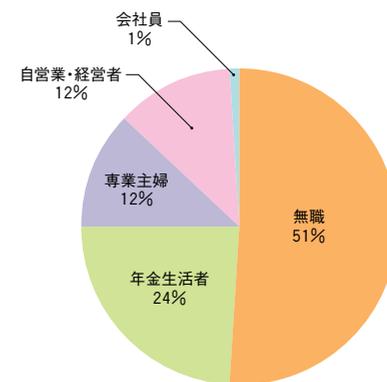
●性別構成比



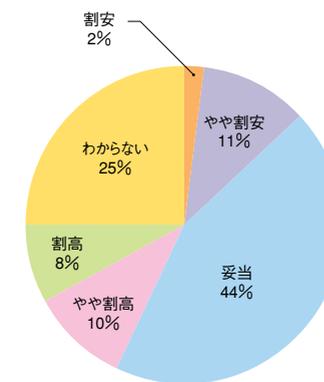
●年齢別構成比



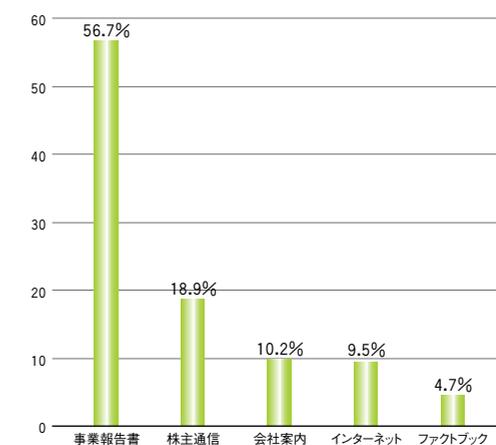
●職業別構成比



●当社の株価水準について



●必要とするIRツール



連結財務諸表(要旨)

会社法における会計について

◎「連結貸借対照表」および「単体貸借対照表」

2006年5月1日施行の会社法により、「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。

これは貸借対照表上、資産性を持つものを「資産の部」、負債性を持つものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを資産と負債の差額として「純資産の部」に記載するものです。

これにより、会社の支払能力などの財政状態をより適切に表示することが可能となります。

◎単体損益計算書

期間中における剰余金の変動は、2006年5月1日施行の会社法により新設された「株主資本等変動計算書」で説明されるため、損益計算書末尾の「未処分利益」の計算区分は廃止されました。

◎「連結株主資本等変動計算書」

2006年5月1日施行の会社法により、「連結株主資本等変動計算書」が新設されました。

これは貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様へ帰属する株主資本について、その1会計年度における変動事由と変動額を、連結ベースでご報告するために作成する計算書類です。

◎「(単体)株主資本等変動計算書」

2006年5月1日施行の会社法により、「利益処分計算書」が廃止され、「(単体)株主資本等変動計算書」が新設されました。

これは貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様へ帰属する株主資本について、その1会計年度における変動事由と変動額を、単体ベースでご報告するために作成する計算書類です。

●連結貸借対照表

科目	当期 (平成19年3月31日現在)	前期 (平成18年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	2,741,437	2,871,723
固定資産	2,713,232	2,844,033
有形固定資産	2,049,347	1,916,800
無形固定資産	32,033	27,577
投資その他の資産	631,850	899,655
繰延資産	—	533
資産合計	5,454,669	5,716,290
(負債の部)		
流動負債	2,405,960	2,440,647
固定負債	564,883	569,306
負債合計	2,970,843	3,009,953
(資本の部)		
資本金	—	530,950
資本剰余金	—	274,139
利益剰余金	—	2,242,380
その他有価証券評価差額金	—	194,916
為替換算調整勘定	—	9,148
自己株式	—	△545,199
資本合計	—	2,706,336
負債及び資本合計	—	5,716,290
(純資産の部)		
株主資本	2,445,396	—
資本金	530,950	—
資本剰余金	274,140	—
利益剰余金	2,187,570	—
自己株式	△547,264	—
評価・換算差額等	38,429	—
その他有価証券評価差額金	27,018	—
為替換算調整勘定	11,410	—
純資産合計	2,483,825	—
負債純資産合計	5,454,669	—

(単位:千円)

●連結損益計算書

科目	当期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)	前期 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)
売上高	8,157,528	8,922,143
売上原価	3,093,004	3,470,780
売上総利益	5,064,523	5,451,362
販売費及び一般管理費	5,145,620	4,994,202
営業利益	△81,096	457,160
営業外収益	54,985	94,769
営業外費用	22,518	27,773
経常利益	△48,629	524,156
特別利益	311,227	13,263
特別損失	81,785	288,453
税金等調整前当期純利益	180,812	248,967
法人税、住民税及び事業税	65,773	245,649
法人税等調整額	110,414	△41,911
当期純利益	4,625	45,228

(単位:千円)

●連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)	前期 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△379,918	178,458
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,083	87,466
財務活動によるキャッシュ・フロー	265,387	△525,789
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,211	8,924
現金及び現金同等物の増減額	△35,235	△250,939
現金及び現金同等物の期首残高	644,556	895,496
現金及び現金同等物の期末残高	609,321	644,556

(単位:千円)

●連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

科目	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高	530,950	274,139	2,242,380	△545,199	2,502,270	194,916	9,148	204,065	2,706,336
連結会計年度中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△48,228	—	△48,228	—	—	—	△48,228
利益処分による役員賞与	—	—	△11,207	—	△11,207	—	—	—	△11,207
当期純利益	—	—	4,625	—	4,625	—	—	—	4,625
自己株式の取得	—	—	—	△2,197	△2,197	—	—	—	△2,197
自己株式の処分	—	0	—	132	133	—	—	—	133
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△167,898	2,262	△165,636	△165,636
連結会計年度中の変動額合計	—	0	△54,810	△2,064	△56,874	△167,898	2,262	△165,636	△222,510
平成19年3月31日残高	530,950	274,140	2,187,570	△547,264	2,445,396	27,018	11,410	38,429	2,483,825

(単位:千円)

個別財務諸表(要旨)

●貸借対照表

科目	当期 (平成18年9月30日現在)	前期 (平成18年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	2,680,048	2,812,281
固定資産	2,727,601	2,874,803
有形固定資産	2,048,018	1,914,237
無形固定資産	31,900	27,380
投資その他の資産	647,682	933,185
繰延資産	—	533
資産合計	5,407,649	5,687,617
(負債の部)		
流動負債	2,363,314	2,401,545
固定負債	562,220	558,228
負債合計	2,925,534	2,959,774
(資本の部)		
資本金	—	530,950
資本剰余金	—	274,139
利益剰余金	—	2,273,036
その他有価証券評価差額金	—	194,916
自己株式	—	△545,199
資本合計	—	2,727,843
負債及び資本合計	—	5,687,617
(純資産の部)		
株主資本	2,455,096	—
資本金	530,950	—
資本剰余金	274,140	—
利益剰余金	2,197,270	—
自己株式	△547,264	—
評価・換算差額等	27,018	—
その他有価証券評価差額金	27,018	—
純資産合計	2,482,115	—
負債純資産合計	5,407,649	—

(単位:千円)

●損益計算書

科目	当期 (平成18年4月1日～平成18年3月31日)	前期 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)
売上高	8,058,215	8,790,384
売上原価	3,033,790	3,365,110
売上総利益	5,024,425	5,425,274
販売費及び一般管理費	5,103,577	4,945,389
営業利益	△79,152	479,884
営業外収益	50,894	85,858
営業外費用	22,260	27,462
経常利益	△50,517	538,280
特別利益	311,227	13,263
特別損失	97,174	288,453
税引前当期純利益	163,534	263,091
法人税、住民税及び事業税	65,632	245,509
法人税等調整額	114,232	△41,801
当期純利益	△16,330	59,383
前期繰越利益	—	744,447
中間配当額	—	22,989
当期末処分利益	—	780,841

(単位:千円)

NEWS 株主優待条件を100株以上に変更

従来500株以上所有の株主の皆様には株主優待を実施しておりましたが、平成19年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載、または記録された株主の皆様より100株以上所有に株主優待の条件が変更となりました。

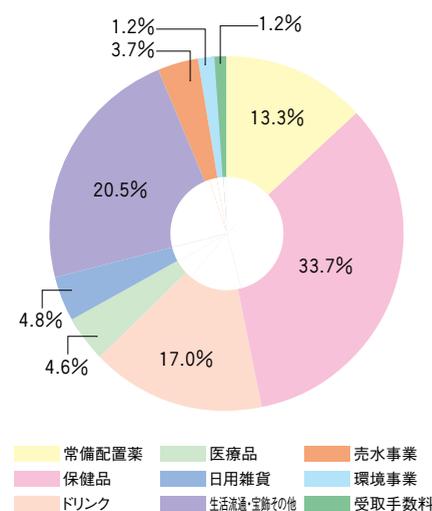
変更後	
100株以上	1,000円相当の自社商品
300株以上	2,000円相当の自社商品
500株以上	3,000円相当の自社商品
1,000株以上	5,000円相当の自社商品
5,000株以上	10,000円相当の自社商品

●株主資本等変動計算書 当事業年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

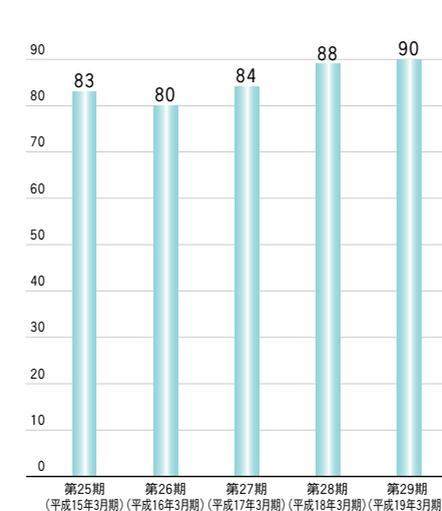
科目	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高	530,950	274,139	2,273,036	△545,199	2,532,926	194,916	194,916	2,727,843
事業年度中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△48,228	—	△48,228	—	—	△48,228
利益処分による役員賞与	—	—	△11,207	—	△11,207	—	—	△11,207
当期純損失	—	—	△16,330	—	△16,330	—	—	△16,330
自己株式の取得	—	—	—	△2,197	△2,197	—	—	△2,197
自己株式の処分	—	0	—	132	133	—	—	133
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△167,898	△167,898	△167,898
事業年度中の変動額合計	—	0	△75,765	△2,064	△77,829	△167,898	△167,898	△245,728
平成19年3月31日残高	530,950	274,140	2,197,270	△547,264	2,455,096	27,018	27,018	2,482,115

(単位:千円)

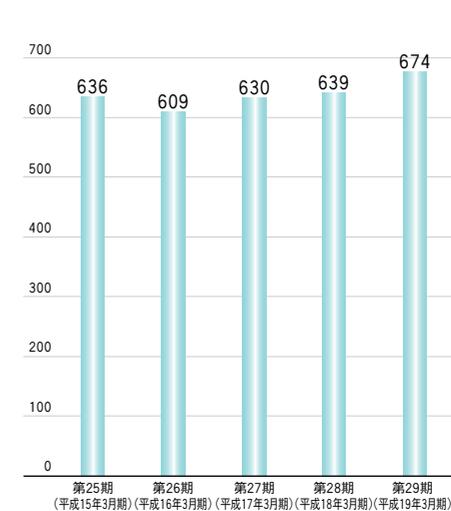
●商品別売上高構成比



●営業拠点数



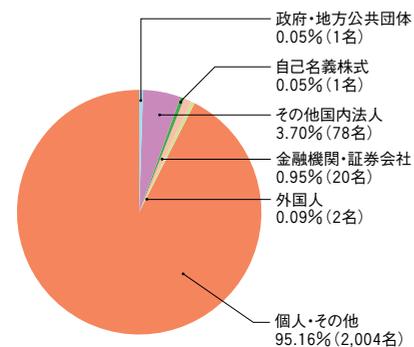
●従業員数



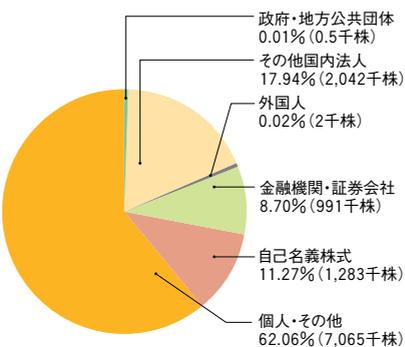
株式の状況 (平成19年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 / 25,000,000株
- 発行済株式の総数 / 11,385,734株
- 株主数 / 2,106名

● 所有者数別状況



● 所有者株式数別状況

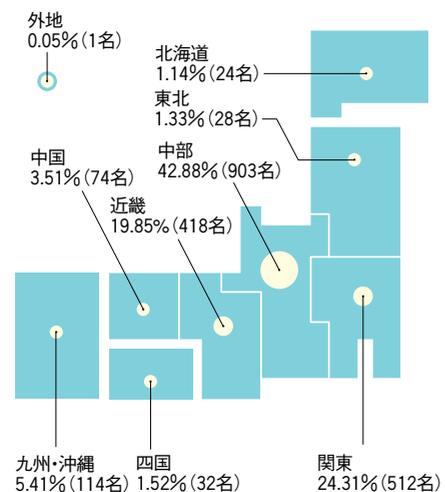


● 大株主

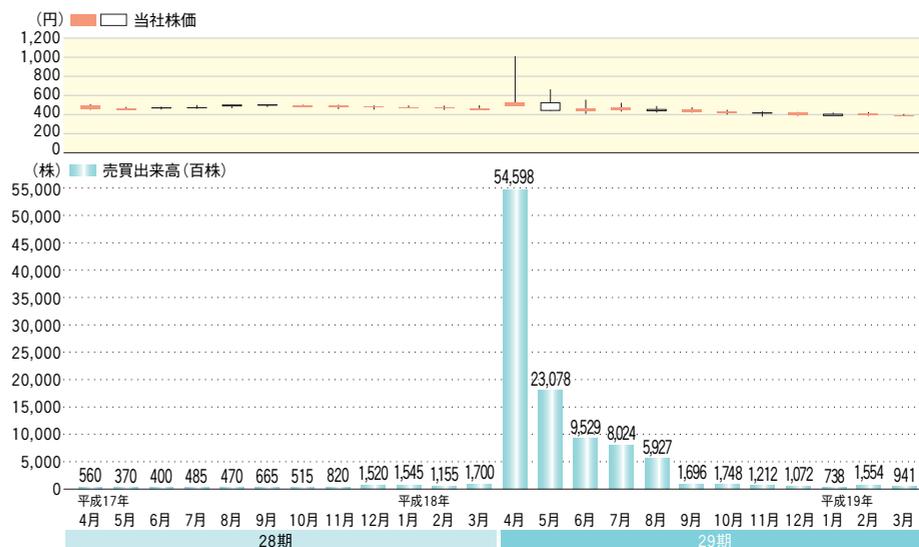
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山田正行	1,354,386	11.9
山田幸男	1,116,386	9.8
有限会社ヤマショー	1,051,885	9.2
山田雄三	771,675	6.8
中京医薬品取引先持株会	225,520	2.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	224,246	2.0
中京医薬品従業員持株会	176,068	1.5
大商株式会社	168,100	1.5
山田重子	163,163	1.4
山田正人	142,697	1.3

(注) 当社は自己株式1,283,344株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

● 地域別分布状況



● 株価の推移



会社の概要・役員・事業所

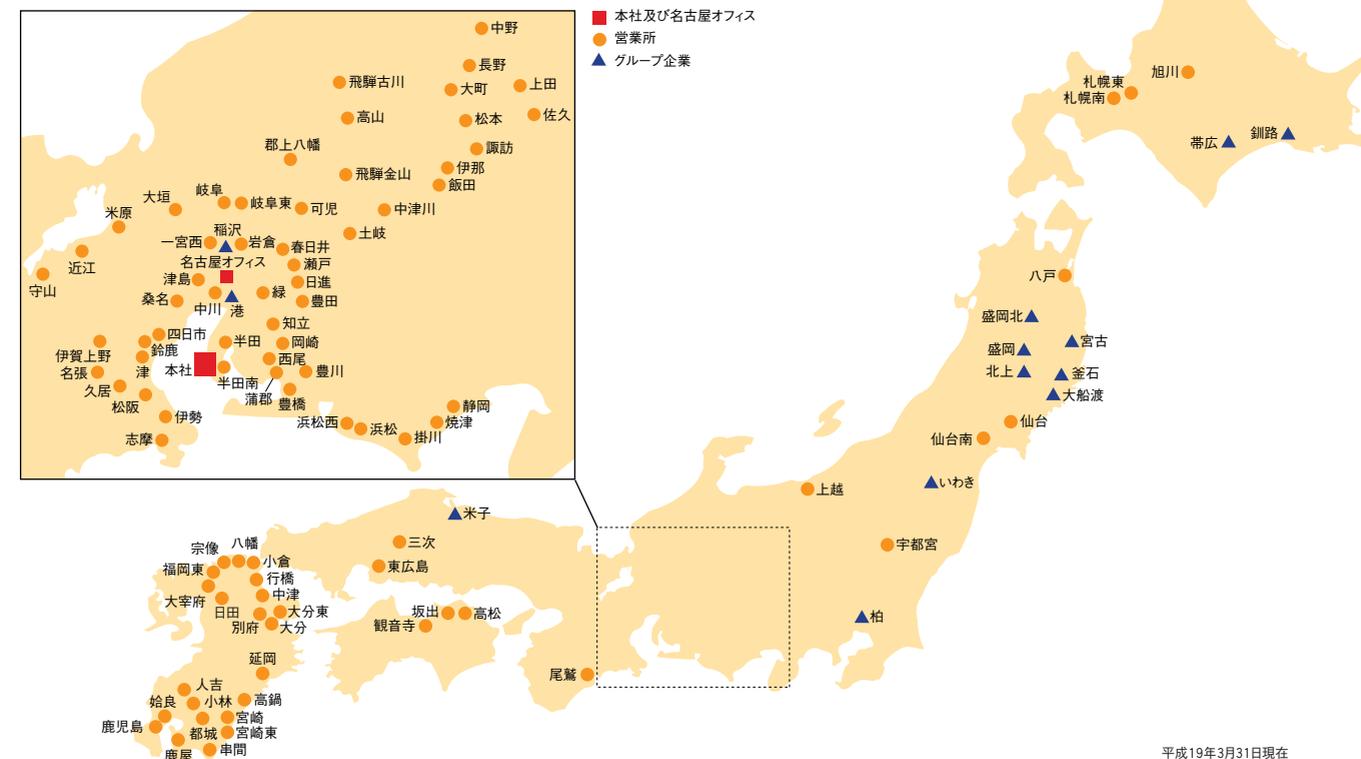
● 会社の概要 (平成19年3月31日現在)

商号	株式会社中京医薬品
本社所在地	愛知県半田市亀崎北浦町2-15-1
創業	昭和24年
設立	昭和53年
資本金	5億3,095万円
代表者	代表取締役社長 山田正行
従業員数	783名(嘱託・パート含む)
事業内容	医薬品・医薬部外品・健康食品・清涼飲料水・医療機器・化粧品・日用品・衣料品・生保・損保・通販・宝飾品などの販売
連結子会社	株式会社ユナイテッドデザイン 株式会社中京医薬品コア

● 役員 (平成19年6月26日現在)

代表取締役社長	山田正行
専務取締役	山田雄三
常務取締役	辻村誠
取締役	山田幸男
取締役	山本謙二
取締役	松本好博
取締役	金澤光二
取締役	佐土原しづ子
取締役	小澤千加四
常勤監査役	秋本實
監査役	長谷川了治
監査役	沼田尚
監査役	柘植信吾

● 事業所



平成19年3月31日現在